

主要施策名：(4)観光・物産プロモーションの推進

事務事業本数：14

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
③賑わいと活力ある産業づくり	(4)観光・物産プロモーションの推進		340-1	金栗四三PR事業	企画経営課
		(5)6次産業化の推進	345-1	6次産業推進事業	観光物産課
			340-3	玉名ブランド推進事業	観光物産課
			340-4	マスコット管理事業	観光物産課
			340-7	施設等管理運営事業	観光物産課
			340-8	草枕の里事業	観光物産課
			340-9	イベント誘客事業	観光物産課
			(1)インバウンド事業の推進	341-1	受け入れ態勢整備事業
		340-10		地域づくり事業	観光物産課
		(1)インバウンド事業の推進	341-2	情報発信事業	観光物産課
		(2)着地型観光商品開発の推進	342-2	協議会等連携・支援事業	観光物産課
		(1)インバウンド事業の推進	341-3	インバウンド推進事業	観光物産課
		(4)玉名版DMOの構築	344-1	玉名版DMO構築事業	観光物産課
			340-11	【新型コロナ】観光支援事業	観光物産課

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称【1】	金栗四三PR事業		所管課【2】	企画経営課
			作成者(担当者)	橋本 健太郎
総合計画での位置付け【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進		
	施策区分			
実施の根拠(複数回答可)【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 <input type="checkbox"/> 重点施策【4】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 <input type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 <input type="checkbox"/> 款 7 項 1 目 7 細目 1			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか)【8】	2019年大河ドラマの主人公のひとりに玉名市名誉市民である金栗四三氏が選ばれた。2021年の東京オリンピック開催を契機に日本人初のオリンピックとして注目が集まっており、同氏を広く周知するための情報の整理、発信が必要となっている。
対象(誰、何に対して、受益者等)【9】	市民、観光客
意図(どのような状態にしたいか)【10】	大河ドラマ放送に伴う観光及び地域振興策はまたとない機会である。関連自治体のみならず、県内外で機運を醸成し、同氏及び市の認知度向上や経済、交流人口の活性化等を図る。

《事務事業の概要》

事業期間【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 年度から】 【 H29 年度～ R5 年度まで】		
事業主体【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容【14】	<p>1 金栗四三PR業務…金栗氏をPRするためのチラシ、リーフレット、等身大パネル、クリアファイル等を作成し、県内外の催事において同氏のPR活動を行う。また、同氏とゆかりのある団体などと新たな関係性の構築を図る。</p> <p>2 大河ドラマ「いだてん」協議会業務…金栗氏が主人公の一人となる大河ドラマ「いだてん」を玉名地域全体で盛り上げるために協議会を設置し、市内各団体との情報交換を行う作業部会を開催する。また、事業展開についてNHKやオリンピック組織委員会との協議・相談窓口を行う。</p> <p>3 玉名市、和水町、南関町協議会業務…金栗氏にゆかりのある近隣市町の玉名市、和水町、南関町が合同で協議会を設立し、共通の案内板やポスター、ノベルティ等を作成し同氏をPRすることで、市町一体となった同氏の周知活動を行う。</p>	【15】 事務事業を構成する細事業(3)本 ⇒	<input checked="" type="checkbox"/> ① 金栗四三PR業務 <input checked="" type="checkbox"/> ② 大河ドラマ「いだてん」協議会業務 <input checked="" type="checkbox"/> ③ ゆかりの地整備事業

《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	9,400	23,696	2,922	0	30,800
		県支出金	10,000	9,597	1,716	0	57,000
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	120,000
		その他	319	0	0	300	0
		一般財源	387,259	216,664	21,255	3,640	342,200
	【16】小計	406,978	249,957	25,893	3,940	550,000	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	1,041	2,186				
	職人費用	職員人工数	3.50	4.10	2.05	1.50	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497	
		会計年度任用職員人工数			0.00	0.00	
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,973	
	【17】小計	20,636	22,452	11,226	8,246		
合計	427,614	272,409	37,119	12,186			

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 金栗四三PR業務	各種イベント等に出展し、金栗氏及び玉名市をPRする。	出展回数	回	43	31	1	2
② 大河ドラマ「いだてん」協議会業務	大河ドラマ館(仮称)の運営や地域を盛り上げる施策を協議する。	会議及び部会の開催回数	回	16	13	2	2
③ ゆかりの地整備事業	金栗氏のゆかりの地である住家やお墓等の周辺整備を行い、訪問者並びに近隣住民の交通等の利便性向上を図る。	整備箇所数	箇所	5	1	3	***

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(市民)	66850	66319	65817
投入コスト合計(千円)	427,614	272,409	37,119	12,186
対象1単位あたりのコスト(千円)	6	4	1	0
コスト評価(対前年比)	***	155.73% (↑)	728.33% (↑)	301.70% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 観光入込客数	交流人口の増加人数(入込観光客数)	人	2500000	2500000	2500000	2500000
2			2243733	2435622	1357958	
* 成果未達成時の理由		新型コロナウイルス感染拡大等もあり、来訪者が大きく減少した。				

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/>	・市が事業へ関与する必要が薄れている	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
有効性 【23】	<input type="checkbox"/>	・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業開始当初の目的から変化してきている	b
	<input type="checkbox"/>	・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	b
	<input type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	b
	<input type="checkbox"/>	・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	b
	<input type="checkbox"/>	・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	b
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	b
	<input type="checkbox"/>	・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
公平性	<input type="checkbox"/>	・法定事務であり成果は求めにくい	b
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
公平性	<input type="checkbox"/>	・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	b
	<input type="checkbox"/>	・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる	【24】
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(機運醸成と地域振興が目的のため)	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	関係機関と連携し協議を行いながら事業を計画したが、新型コロナウイルスの影響によりそのほとんどが実施できなかった。しかし、マラニックコースの造成及び九州版道の駅案内や高速道路マップ等での広告、金栗トロフィーを制作して全国の金栗氏とゆかりのある大会に授与、「韋駄天」のへん額レプリカを筑波大学及び神奈川県箱根町に寄贈など、コロナ禍においても可能な活動を行った。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	一過性で終わらせないためにも引き続きPRをしていかなければならないが、今後は地元や他団体が主体となりPRをしていくことが望ましいと考える。その中で、地元との連携を図りつつPRを継続し、玉名の認知度向上に努める。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)	<input checked="" type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)	金栗四三PR事業

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	金栗四三氏ゆかりの自治体や大学等の団体との交流を通じPRを進める一方で、マラニックコースを活用した事業を行うことで地域活性化を図ることが必要。また、次年度以降を見据えて、マラニックイベントやゆかりの自治体との交流イベント等の所管も片内で調整を行う。	評価責任者 石貫 誠哉
----------------------	--	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 研究開発事業	補助金を交付することにより6次産品の開発を支援する。	補助金交付件数	件	9	6	2	6
② 販路開拓事業	市場調査(テストマーケティング)の場の提供、販路開拓(商談)支援	販売会の開催、商談会での支援回数	回	10	9	2	10
③							

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算			
	対象(6次産業に取組む市内の農林漁業者(1次生産者))	20	20	20	20		
投入コスト合計(千円)	12,763	7,974	5,394	9,335			
対象1単位あたりのコスト(千円)	638	399	270	467			
コスト評価(対前年比)	***	160.06%	(↑)	147.83%	(↑)	57.78%	(↓)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 6次産品売上高	市の補助金を活用して開発された6次産品の販売金額	千円	50,000 45,765	50,000 49,972	50,000 35,402	50,000
2 6次産業推奨品認定数	市が推奨品として認定した商品数	品	5 2	5 0	5 3	2

* 成果未達成時の理由 多くの事業者が新型コロナウイルス感染拡大の影響により販売量が減少している。また、新規参入者については少なく、高齢化等によって事業縮小している事業者も増えてきており、あまり広がりが見られないため。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input checked="" type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input checked="" type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
		<input checked="" type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
		<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	補助金は、機械購入を除き、研究開発や販路拡大の取組に対しての支援を行った。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、販路拡大の機会は限定的であった。個別相談会や勉強会、商談会への参加を通して、商品の磨き上げ、HPやSNSの活用など、対面以外で実施できる販路拡大につながる取組を支援した。			
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	玉名市6次産業推進補助金は、年々縮小の方向で進んでいる。個別相談会や勉強会、商談会等を行い、商品の磨き上げや販路拡大につながる取組への支援を続ける。			
次年度への予算反映(連動) [27]	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [28]	昨年度の補助申請者の実績を勘案しても減少傾向にあることから、今後の事業の継続を含め方向性について検討する必要がある。	評価責任者 津川 隆一
-------------------	--	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 玉名ブランド物産PR事業	集客が多いイベントへブース出展して、ブランド物産品をPRする	イベントへの参加回数	回	6	5	2	5
② キラリかがやけ玉名物産展事業	物産展を開催してブランド物産品を販売する	参加業者の件数	件	32	20	7	20
③ オリジナルロゴマーク管理事業	オリジナルロゴマークの作製及び使用申請の審査・許可を行う	作製及び審査件数	件	0	0	0	1

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算			
	対象(ブランド物産協会会員)	32	32	31	31		
投入コスト合計(千円)	11,026	9,965	3,896	8,313			
対象1単位あたりのコスト(千円)	345	311	126	268			
コスト評価(対前年比)	***	110.65%	(↑)	247.78%	(↑)	46.87%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 ブランドの知名度	物産展での集客人数	千人	1,700	1,700	90	90
			1,690	1,802	0	
2 玉名市物産展での売上	物産展でのブランド物産品の販売額	千円	3,000	4,600	2,500	2,500
			4,581	3,553	212	

* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、イベントの実施がほとんどできなかったため。

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input checked="" type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない		妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
		<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある		有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
		<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、例年東京で開催されている渋谷フェスティバルはオンラインで開催され、対面販売する機会はなかった。びぶれす広場の物産展、大阪のふるさと玉名フェアも中止した。大阪の会場使用料増加に伴う別会場の検討については、候補の洗い出しなどを行っている状況である。ブランド認定品については、玉名ブランド物産協会や6次産業事業者をとりまとめた新たな地域ブランド事業を立ち上げる方向としていたが、具体的な内容や事業者への説明等は行っていない。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	大阪フェアに替わる新たな会場の選定については、引き続き検討を行っていく。ブランド認定品については、玉名市6次産業推進計画(第4期)が終了する令和4年度までに、玉名ブランド認定品や6次産業推奨品等を含む新たな枠組みの設置に向け、内容の検討を行っていく。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	玉名ブランド物産品と6次産品をが一体となり、玉名市の物産品としてPR及び販路拡大に取り組む必要がある。また、今後は新型コロナウイルス感染拡大に配慮した新たな物産展のあり方について検証する必要がある。	評価責任者 津川 隆一
-------------------	---	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

Table with 7 rows and multiple columns. Row 1: 事務事業の名称 [1] マスコット管理事業. Row 2: 総合計画での位置付け [3] 基本目標(章) ③賑わいと活力ある産業づくり. Row 3: 実施の根拠 [5] 市長公約, 新市建設計画, 法令, 県・市条例等, その他の計画. Row 4: 事業区分 [6] ソフト事業, 義務的事業, 建設・整備事業, 施設の維持管理事業, 内部管理事務, 計画等の策定及び進捗管理事務. Row 5: 会計区分 [7] 一般会計, 特別・企業会計.

《事務事業の目的》

Table with 3 rows. Row 1: 事務事業の実施背景 [8] 音楽イベントマスコットとして誕生し、平成23年度から玉名市のマスコット「タマにゃん」として正式に位置づけ商標登録している. Row 2: 対象 [9] マスコット使用申請者及び着ぐるみ貸出申請者. Row 3: 意図 [10] タマにゃんの着ぐるみの貸出やマスコットの使用によって、市のPR活動やイメージアップにつなげ、市内外における玉名市の認知度の向上を図る。

《事務事業の概要》

Table with 4 rows. Row 1: 事業期間 [11] 単年度のみ, 単年度繰返し, 期間限定複数年度. Row 2: 事業主体 [12] 国, 県, 市, 民間, その他. Row 3: 実施方法 [13] 直営, 全部委託・請負, 一部委託・請負, 補助金等交付, その他. Row 4: 事務事業の具体的内容 [14] 申請者が実施する企画や実施する音楽をはじめとした様々なイベント等の場において、「タマにゃん」の使用が適切と審査した場合には、無償でマスコット・着ぐるみの使用・貸し出しを許可する。

《事務事業実施に係るコスト》

Table with 7 columns: H30年度決算, R01年度決算, R02年度決算, R03年度予算, 全体計画. Rows include: 事業費 (千円) with sub-rows for 国庫支出金, 県支出金, 起債, 受益者負担, その他, 一般財源; 職人員件の費 with sub-rows for 職員人工数, 職員の間年平均給与額(千円), 会計年度任用職員人工数, 会計年度任用職員の年間平均給与額(千円); and summary rows [16] 小計 and [17] 小計, 合計.

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 玉名市マスコット管理事業	マスコット画像及び着ぐるみの使用・貸出し・申請の審査・許可する。	使用申請審査件数	件	83	66	47	50
② 玉名市マスコット商標登録業務	特許庁へ商標の登録申請を行う。	申請件数	件	***	2	***	***
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(マスコット画像使用申請者及び着ぐるみ貸出申請者)	83	66	47
投入コスト合計(千円)	4,087	3,203	3,068	3,135
対象1単位あたりのコスト(千円)	49	49	65	63
コスト評価(対前年比)	***	101.46% (↑)	74.35% (↓)	104.11% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 マスコット画像使用許可件数	マスコットの画像使用を許可した年間件数(市内23件、市外0件) ()内の数は、R2年度の実績。	件	30	50	30	30
2 認知度向上	着ぐるみの市外出動件数	件	20	30	20	10
* 成果未達成時の理由			新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響から、ほとんどのイベントが中止、自粛となり、マスコット出勤の場がほとんどなかったため。			

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input checked="" type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input checked="" type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	庁内職員が着ぐるみを利用する場合は、紙媒体での申請を廃止し、システム予約に変更することで簡素化を図った。また、利用の際は、担当課で対応してもらうこととし当課での対応を軽減させた。 画像使用申請については、これまですべての申請に押印を必要としている状況から、営利目的の申請のみ押印をもらう方向で検討を行ったが、実施には至っていない。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	C	
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	事務負担軽減のため、画像申請については簡易申請を引き続き検討する。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	今後も引き続き、イベント等での出勤のみならず、紙媒体やSNS等で積極的に発信し玉名市の認知度向上につなげる。	評価責任者 津川 隆一
----------------------	--	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	施設等管理運営事業		所管課 【2】	観光物産課						
			作成者(担当者)	末永 崇						
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり			重点 施策 【4】					
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進			□ 該当					
	施策区分									
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 観光ほっとプラザ「たまらら」条例、玉名市ふるさとセンター・BOX条例等 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし									
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務									
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】 款	7	項	1	目	4	細目	2

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	地域資源を活用し、多くの観光客に会場してもらい経済効果を生むとともに、資源を有する地域の活性化を図る必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	利用者
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	経営状態によって業務委託もしくは指定管理者制度導入を検討するなど、適切な運営管理と利用者の増加を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】	
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】	
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他【 指定管理者制度 】	
事務事業の具体的内容 【14】	【15】 事務事業を構成する細事業(13)本	
	⇒	① 観光ほっとプラザ「たまらら」指定管理業務
		② 松原海水浴場事業
		③ 小岱山ふるさと自然公園事業
	・「たまらら」は指定管理制度における基本協定に基づき、指定管理者により適切な管理運営を行う。 ・松原海水浴場は警備・清掃等委託契約により適切な維持管理を行う。 ・小岱山ふるさと自然公園は委託により管理及び巡視活動を行う。	

《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	1,548	1,563	1,872	1,576
		起債	0	0	0	53,100
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	6,053
		一般財源	35,943	34,651	66,871	50,103
		【16】 小 計	37,491	36,214	68,743	110,832
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0		
	職人 員 件 費	職員人工数	0.76	0.85	1.15	1.15
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497
		会計年度任用職員人工数			0.00	0.00
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,973
【17】 小 計		4,481	4,655	6,297	6,322	
合 計		41,972	40,869	75,040	117,154	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 観光ほっとプラザ「たまらう」指定管理業務	指定管理者に基本協定に基づき、管理運営を行わせる。	開館日数	日	365	365	365	365
② 松原海水浴場事業	委託により警備・清掃を行う。	海水浴場開設期間	日	39	41	0	40
③ 小岱山ふるさと自然公園事業	委託により管理を行う。	巡視回数	回	365	365	365	365

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
対象(施設利用者数(R3は目標値入力))	187189	183851	154877	160000
投入コスト合計(千円)	41,972	40,869	75,040	117,154
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	1
コスト評価(対前年比)	***	100.87% (↑)	45.88% (↓)	66.17% (↓)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 利用者数	たまらう、松原海水浴場、小岱山ふるさと自然公園、Y-BOXの延べ利用者数	人	180,000 187,189	185,000 183,851	185,000 154,877	160,000
2 利用者数	玉の湯、草枕温泉ほか5施設の延べ利用者	人	-	-	-	360,000
* 成果未達成時の理由			新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、施設利用者が大きく減少したため			

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 [22]	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない)	【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	松原海水浴場の管理については、令和5年度の指定管理者の更新時期に向け、主管課となる部署が不確定であるため、協議と検討が進んでいなかったが、松原海岸及び施設に対して興味を持った民間会社からの話があり、関係課が集まり協議を行った。その結果、民間会社が地元と協議した上で、任意団体を設立する予定であり、それに合わせて市の関係課が定期的に協議を行う予定。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	新型コロナウイルス感染症対策を十分とりながら、令和5年度の指定管理者の更新時期に向け、松原海岸及び施設の一体的な管理運営を担うことができる団体の育成を、市として支援する。		
次年度への予算反映(連動) [27]	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [28]	各管理施設については新型コロナウイルス感染症拡大の影響もさることながら、今後、効果的な運営に取り組むとともに、ウイズコロナ、アフターコロナを見据え運営が必要である。また、Y-BOX、玉の湯、草枕温泉については公共施設適正配置に基づき民営化に向けた準備を進める。「たまらう」については令和5年度からの指定管理選定方法を見直し、幅広く民間に呼びかけ、さらなる収益につなげる。	評価責任者 津川 隆一
-------------------	---	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

Table with 7 rows and multiple columns for project details. Row 1: 事務事業の名称 [1] 草枕の里事業, 所管課 [2] 観光物産課, 作成者(担当者) 財津 光那. Row 2: 総合計画での位置付け [3] 基本目標(章) ③賑わいと活力ある産業づくり, 主要施策(節) (4)観光・物産プロモーションの推進, 施策区分, 重点施策 [4] 該当. Row 3: 実施の根拠 [5] 市長公約, 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0千円】, 法令・県・市条例等【 玉名市草枕交流館条例、前田家別邸条例 }, その他の計画【 } 該当なし. Row 4: 事業区分 [6] ソフト事業, 義務的事業, 建設・整備事業, 施設の維持管理事業, 内部管理事務, 計画等の策定及び進捗管理事務. Row 5: 会計区分 [7] 一般会計, 特別・企業会計【 } 款 7 項 1 目 4 細目 3.

《事務事業の目的》

Table with 3 rows for project purpose. Row 1: 事務事業の実施背景 [8] 玉名市天水町にしかない地域資源を最大限に活用し、地域の活性化及び観光客誘客を図り魅力ある観光地域づくりを行う必要がある。 Row 2: 対象 [9] 市民及び観光客. Row 3: 意図 [10] 草枕の里を適切に管理することにより、訪れる観光客の満足度やイメージを向上させ「また来なくなる」リピーターを増加を図る。

《事務事業の概要》

Table with 5 rows for project overview. Row 1: 事業期間 [11] 単年度のみ, 単年度繰返し, 期間限定複数年度. Row 2: 事業主体 [12] 国, 県, 市, 民間, その他【 }. Row 3: 実施方法 [13] 直営, 全部委託・請負, 一部委託・請負, 補助金等交付, その他【 }. Row 4: 事務事業の具体的な内容 [14] 会計年度任用職員を配置して適切な管理運営を行う。施設の維持管理においては有効活用を図りながら維持管理を行う。また、維持管理を実施する中で、漱石保存会の支援を受け雑草の除去、樹木の剪定等を行っている。この漱石保存会に対しては、補助金交付を行っている。天水地域の観光関連事業所で構成された「天水・草枕の里観光協議会」の事務局的な機能も有している。 Row 5: [15] 事務事業を構成する細事業(1)本. Sub-table with 3 rows: ① 草枕交流館・前田家別邸運営事業, ②, ③.

《事務事業実施に係るコスト》

Table with 7 columns and multiple rows for cost breakdown. Columns: H30年度決算, R01年度決算, R02年度決算, R03年度予算, 全体計画. Rows: 事業費 (千円) 国庫支出金, 県支出金, 起債, 受益者負担, その他, 一般財源, [16] 小計, [再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円), 職人員件費 職員人工数, 職員の間平均給与額(千円), 会計年度任用職員人工数, 会計年度任用職員の間平均給与額(千円), [17] 小計, 合計.

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 草枕交流館・前田家別邸運営事業	草枕交流館を拠点に前田家別邸等、地域資源を活かしたイベントを行う。	草枕交流館開館日数	日	310	280	229	280
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
対象(来館者数(R3は目標値を入力))	5737	4421	1451	2000
投入コスト合計(千円)	9,718	10,730	12,389	12,719
対象1単位あたりのコスト(千円)	2	2	9	6
コスト評価(対前年比)	***	69.79% (↓)	28.43% (↓)	134.26% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 草枕交流館来館者数	草枕交流館の延べ来館者数	人	7000 5737	6000 4421	5000 1451	2000
2						

* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症の世界的流行により市内入込客数が激減し、交流館の来館者数が減少した。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担にはなじまない) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、イベントを中止にしたが、非接触型イベントであるフォトコンテストを実施した。民間委託については、指定管理者制度を軸に協議を続けている。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	新型コロナウイルス感染拡大状況にもよるが、収束後に向けた県内外からの来訪を促す取り組みを検討するとともに、引き続き、令和5年度を目途にした指定管理者制度導入に向け、地元や関係各所と十分な協議を行ったうえで、今後の市としての方針を検討していく。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	文豪「夏目漱石」は他にない地域資源であることから、ブラッシュアップを図り観光ルートや「旅行商品」としての達成を目指す。さらなる観光客誘客に結びつけ、魅力ある地域づくりにつなげる。	評価責任者 津川 隆一
-------------------	---	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

Table with 7 rows and multiple columns for basic information including event name, objectives, implementation basis, and accounting classification.

《事務事業の目的》

Table with 3 rows detailing the purpose, target audience, and intent of the business activity.

《事務事業の概要》

Table with 5 rows providing an overview of the business activity, including duration, subject, implementation method, and specific content.

《事務事業実施に係るコスト》

Cost breakdown table with columns for fiscal years (H30, R01, R02, R03) and a total plan column, detailing expenses for materials and personnel.

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 玉名大儀まつり事業	実行委員会に補助金を交付する。併せて事務局を運営する。	実行委員会、執行部会の開催回数	回	15	11	11	15
② 高瀬裏川花しょうぶまつり事業	実行委員会に補助金を交付する。併せて宣伝活動や案内所の受け入れ業務を行う。	イベント開催期間	日	16	16	0	16
③ 山田の藤PR事業	メディア媒体に対し事業のPRを行う。	イベント開催期間	月	3	3	0	3

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
対象(観光客、参加者数(R3は目標値を入力))	197584	205212	0	210000
投入コスト合計(千円)	17,958	16,909	3,064	13,533
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
コスト評価(対前年比)	***	110.30% (↑)	0.00% (—)	0.00% (—)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	R03実績
1 観光客数	玉名大儀まつり(0人)、高瀬裏川花しょうぶまつり(0人)、草枕ウォーキング(0人)の合計観光客数。()内はR2年度の実績。	人	250,000 197,216	250,000 204,207	210,000 0	210,000
2 スポーツツーリズム参加者数	ビーチサッカー(夏0人、秋0人)、ウォーターサバイバルゲーム(0人)、トレイルラン(0人)の合計参加者数。()内はR2年度の実績。	人	800 368	800 1,005	1,000 0	1,000
* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、イベントが実施できなかったため。						

《事務事業の評価》

		評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/>	・市が実施するよう法令等で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす	
効率性 [22]	<input type="checkbox"/>	・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の目標値を達成した	
公平性	<input type="checkbox"/>	・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる	公平性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input checked="" type="checkbox"/> 設定できない理由(受益者負担はなじまない) [24]	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	大儀まつりについては新競技の課題を整理し改善点をまとめた。ウォーターサバイバルについては、コロナ禍の影響により業者との打ち合わせが困難だったことから民間の自走に関する話は進んでいない。また、トレランについては、ホテルとの宿泊バック付きの申込ができる方向で関係各所と交渉を予定していたがコロナ禍により実行に至らなかった。			
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定 A
	<input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 終了	
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今年度のイベントについては、開催の可否について慎重に判断を行う必要があるが、開催する場合は県が掲げている新型コロナウイルス対策を講じたうえ、令和元年度に挙げている見直し・改善内容を反映させ事業を進める。			
次年度への予算反映(連動) [27]	<input type="checkbox"/> 増額 (細事業名)			
	<input type="checkbox"/> 減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [28]	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、集客人数の制限や、衛生管理の徹底など「新たなイベントスタイル」が求められる。また、「観光」との結び付けを強化することで、参加者の滞在時間を延ばす手法として、「宿泊施設プラン」や「観光案内プラン」等を構築し地域にお金が落ちる「しくみづくり」が必要である。また、既存のイベントを精査し、継続を含めた見直しを図ることで、費用対効果や事務の効率化を図る。	評価責任者 津川 隆一
-------------------	---	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	受け入れ態勢整備事業		所管課 【2】	観光物産課		
			作成者(担当者)	高田 千織		
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり				重点 施策 【4】
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進				
	施策区分	(1)インパウンド事業の推進				<input type="checkbox"/> 該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし					
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務					
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】 款 7 項 1 目 4 細目 5					

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	観光客が求める多種多様なニーズに対応するため、市民、観光関係団体、行政が一体となって受け入れ態勢の整備を行う必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民及び観光客
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	玉名市ならではの着地型旅行商品の開発および観光ウェブサイトの充実を図ることに加えて、市内18宿泊施設に対する感染症対策の認証を継続することで、リピーターの増加を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・観光客が求める多種多様なニーズに対応するため、玉名市ならではの着地型旅行商品の開発及び観光WEBサイトの充実を図る。また、市内18宿泊施設に対する感染症対策の認証を継続することで、受け入れ態勢の整備を図る。		
	⇒	【15】 事務事業を構成する細事業 (3)本 ① 着地型観光商品開発事業 ② プラットフォーム設置に向けた取り組み地域資源活用事業 ③ 宿泊施設感染症対策認証事業	

《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	3,020	2,947	2,530	2,045
	【16】 小 計	3,020	2,947	2,530	2,045	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0			
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.52	0.25	0.30	0.30
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497
		会計年度任用職員人工数			0.00	0.00
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,973
		【17】 小 計	3,066	1,369	1,643	1,649
	合 計	6,086	4,316	4,173	3,694	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 着地型観光商品開発事業	観光客の滞在時間を延ばすため体験型の旅行商品を開発する。	会議開催回数	回	10	10	3	5
② プラットフォーム設置に向けた取り組み地域資源活用事業	SNSを活用したキャンペーン等の情報発信	情報発信回数	回	1	13	20	30
③ 宿泊施設感染症対策認証事業	玉名市内の宿泊施設で、規定の項目を満たした施設に対して認証する。	認証件数	軒	***	***	18	18

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(参加者数(R3は目標地を入力))	218	488	76
投入コスト合計(千円)	6,086	4,316	4,173	3,694
対象1単位あたりのコスト(千円)	28	9	55	18
コスト評価(対前年比)	***	315.66% (↑)	16.11% (↓)	297.28% (↑)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 着地型旅行商品参加者数(旬たまWEEK)	参加者数	人	250	120	500	200
			218	488	76	
2 着地型旅行商品数(旬たまWEEK)	商品数	本	15	5	16	15
			15	16	12	

* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症の世界的流行により市内入込客数が激減し、参加者数が減少した。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 [22]	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	着地型旅行商品については、新型コロナウイルス感染症の影響で人との接触が制限され、集客も達成も難しい状況であった。「プラットフォーム設置に向けた取り組み及び地域資源活用事業」においては、SNS等での情報発信に力を入れるとともに、玉名市公式観光案内WEBサイト「タマてパコ」の改修(マップ検索機能の追加)により観光客の利便性を向上し、コロナ収束後の観光需要に備えた。			
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	新型コロナウイルス感染症終息後の観光需要に備えて、これまでのデータの分析や、新しい生活様式に対応した商品の開発に力を入れていきたい。			
次年度への予算反映(連動) [27]	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [28]	各観光施設の受け入れ態勢の充実はあることから、今後は「ウイズ・コロナ」、「アフター・コロナ」を見据えた「新たな観光スタイル」の構築も必要である。そのためには、玉名の観光を牽引する「一社 玉名観光協会」が主軸となり、温泉組合、物産協会、DMOをまとめ上げ、より強固な組織を形成することが重要である。また、本年度から総務省の地域活性化企業人制度を活用し、株式会社阪急交通社から1名、派遣いただいているため、長年観光業務で培った助言をいただきながら誘客に結びつく事業展開を進める。	評価責任者 津川 隆一
-------------------	---	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	地域づくり事業	所管課 【2】	観光物産課			
		作成者(担当者)	末永 崇			
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり				重点 施策 【4】
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進				
	施策区分					
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】【 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input checked="checked" type="checkbox"/> 該当なし					
事業区分 【6】	■ ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務					
	会計区分 【7】	■ 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】【 款 7 項 1 目 4 細目 6				

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	地域再生・活性化を図るための地域振興事業として、地域振興事業の推進や地域の実情に応じた地域づくりが必要である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	地域住民
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	地域のまつりを支援することで、地域の活力と活性化を促し、特色ある地域づくりを実施する。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="checked" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="checked" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input checked="checked" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】		
事務事業の具体的内容 【14】	・岱明町、横島町、天水町の各地域の夏まつり実行委員会に対して補助金を交付する。	⇒	【15】 事務事業を構成する細事業(3)本
			① 岱明夏まつり事業 ② 横島夏まつり事業 ③ 天水夏まつり事業

《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	5,050	4,950	0	4,700	0
		【16】 小 計	5,050	4,950	0	4,700	0
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0			
	職人員件費	職員人工数	0.05	0.05	0.06	0.06	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497	
		会計年度任用職員人工数			0.00	0.00	
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,973	
		【17】 小 計	295	274	329	330	
	合 計		5,345	5,224	329	5,030	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 岱明夏まつり事業	実行委員会に対して補助金を交付	補助金交付回数	回	1	1	0	1
② 横島夏まつり事業	実行委員会に対して補助金を交付	補助金交付回数	回	1	1	0	1
③ 天水夏まつり事業	実行委員会に対して補助金を交付	補助金交付回数	回	1	1	0	1

《コスト評価による年度比較》 [19]

コスト評価	H30年度決算		R01年度決算		R02年度決算		R03年度予算					
	対象(来場者数)	5600	5600	0	5600	投入コスト合計(千円)	5,345	5,224	329	5,030		
対象1単位あたりのコスト(千円)	1	1	0	1	コスト評価(対前年比)	***	102.32%	(↑)	0.00%	(-)	0.00%	(-)

《事務事業の成果》 [20]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 来場者数	岱明・横島・天水の夏祭りの来場者合計数	人	5900	5600	5600	5600
2			5600	5600	0	

* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、イベントが実施できなかったため。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 [21]	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
効率性 [22]	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input checked="" type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
有効性 [23]	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 [25]	平成27年度から各夏まつり実行委員会及び玉名市商工会へ補助金に頼らない自主財源の確保に努めるよう自助努力をお願いしており、令和2年度は物販などでの自主財源確保の動きがみられたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。		
今後の方向性 [26]	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	自主財源の比率は、令和元年度時点で岱明約36%、横島約31%、天水約66%である。現状各夏まつりへの補助額及び比率が一定ではないため、将来的に補助額を統一するためにもこれまで以上に自主財源の確保や事業見直しによるコスト削減などの改善が必要であり、今後も主催者側と検討を重ねていく。		
次年度への予算反映(連動) [27]	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 [28]	事業内容は地域の「夏まつり」への補助金のみとなっていることから、県内外から誘客を図る観光振興との結びつきが薄いため、今後「地域振興」を所管する課へ移管を検討する。	評価責任者 津川 隆一
-------------------	---	----------------

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 玉名観光魅力アップ事業	ターゲット地域を中心に誘客キャンペーンを実施	誘客訪問回数	回	50	55	10	50
② 観光HPPR事業	市HPに情報掲載、民間HPに情報提供	市HP情報掲載件数	件	100	100	50	100
③ 各種広告掲載事業	メディア媒体等で各種イベント等を紹介	広告件数	件	115	120	20	100

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(観光客数(R3は目標値入力))	2243733	2435622	1357958
投入コスト合計(千円)	12,584	10,881	8,273	8,284
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
コスト評価(対前年比)	***	125.50% (↑)	73.40% (↓)	110.33% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 観光客総入込客数	県に報告した玉名市の観光統計の総入込客数	人	2500000	2500000	2500000	1500000
			2243733	2435622	1357958	
2						

* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症の世界的流行により観光客が激減した。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	新型コロナウイルス感染症の流行状況が刻一刻と変わる中、情報発信としては、随時更新できるWEBが有効であった。まつり等のイベントは中止となり、積極的な誘客ができない状況ではあったが、観光関連事業者への支援策として行ったクーポン事業や玉名クオリティ認証などの情報発信を行った。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	新型コロナウイルス感染症の影響は、今後も予想することが難しいと思われるため、随時更新できるWEBと、状況に左右されずに実施できる事業の紙媒体での発信と、性質とターゲットを考えて使い分けていく。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名)			
	<input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	今後は、旅行雑誌などの広告媒体からSNSなどのインターネットを活用した情報発信が有効と考える。玉名市が運営する観光情報サイト「タマてパコ」を主軸に、今後さらに内容を充実させ、アクセス数を増やすことで広告費の削減につなげる。	評価責任者 津川 隆一
-------------------	---	-----------------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	協議会等連携・支援事業		所管課 【2】	観光物産課			
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり					重点 施策 【4】 <input type="checkbox"/> 該当
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進					
	施策区分	(2)着地型観光商品開発の推進					
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】						
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】						
	<input type="checkbox"/> その他の計画【 】		<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし				
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務						
	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】		款 7	項 1	目 4	細目 8	

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	観光関連における九州域内の各種協議会との連携を図り情報を共有するとともに、財政的あるいは人的な支援を行いながら、玉名市の観光振興につなげていく必要がある。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	観光客
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	観光関係の協議会等と連携を図り、支援をすることで、観光産業の振興を促し多くの観光客に来てもらう。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容 【14】	<p>・玉名を訪れる観光客を受け入れるために、案内板の便宜設置、観光ガイドの発掘育成や各観光関連事業所スタッフの接遇及びおもてなし力向上を図るために、玉名観光協会及び玉名温泉観光旅館協同組合等に対して補助金交付や人的な支援を行う。</p> <p>・県北観光協議会と連携するとともに、負担金を支出し、観光PR等の事業を推進する。</p> <p>・九州観光都市連盟と連携するとともに、観光PR等の事業を推進する。</p> <p>・熊本県観光連盟と連携するとともに、負担金を支出し、観光PR等の事業を推進する。</p> <p>・くまもとうまかもん輸出支援協議会と連携するとともに、負担金を支出し、物産PR等の事業を推進する。</p>
⇒	
【15】 事務事業を構成する細事業(19)本 ① 玉名観光協会事業 ② 玉名温泉活性化事業 ③ 県北観光協議会事業	

《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	642	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	20,455	23,245	22,762	21,058	0
	【16】 小 計		20,455	23,245	22,762	21,700	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0			
	職人員件の費	職員人工数	0.58	0.87	0.65	0.65	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497	
		会計年度任用職員人工数			0.00	0.00	
会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)				1,950	1,973		
【17】 小 計		3,420	4,764	3,559	3,573		
合 計		23,875	28,009	26,321	25,273		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 玉名観光協会事業	補助金交付・人的支援を実施することにより観光振興を図る。	イベント開催回数	回	3	4	1	4
② 玉名温泉活性化事業	補助金交付・人的支援によるイベント実施や環境整備	イベント開催回数	回	14	14	0	14
③ 県北観光協議会事業	県北の自治体と連携して観光PRを実施する。	観光PR回数	回	4	4	0	4

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(観光客数(R3は目標値入力))	2243733	2435622	1357958
投入コスト合計(千円)	23,875	28,009	26,321	25,273
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0
コスト評価(対前年比)	***	92.52% (↓)	59.34% (↓)	115.01% (↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	R03実績
1 観光客数	県の観光統計による入込客数	人	2500000 2243733	2500000 2435622	2500000 1357958	1500000
2 温泉旅館宿泊者数	県の観光統計による宿泊客数	人	110000 110462	110000 114083	110000 57854	60000

* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、観光客数が激減したため。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
有効性 【23】		<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある
	公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担にはなじまない) 【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、観光客数は減少したが、各観光関連団体との連携を強化するために、次年度へ向けた取り組みについてオンラインで協議を行った。日本遺産事業については、民間組織主体で運営していくことが望ましいことから、玉名観光協会に事務事業の一部を委託しながら進めることとなった。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	大河ドラマいだてん関係事業については、令和3年度から金粟四三翁住家・資料館の施設管理業務を企画経営課から観光物産課へ移管し、地元なども連携して事業を展開してゆく。また令和3年度から総務省の地域活性化起業人制度を利用して民間事業者から観光アドバイザーを招聘したことから、各観光関連団体の改革を含め、意見を反映させながら進める。日本遺産事業については、玉名観光協会を軸に玉名市ほか参画自治体が支援しながら事業を継続していく。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	協議会については、団体、市町村が連携し幅広く事業へ取り組むためには効率的な事業である。ただし、趣旨や目的が類似もしくは重複した協議会事業も見受けられることから、統廃合など見直しも含め検討を行う必要がある。	評価責任者 津川 隆一
-------------------	--	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称【1】	インバウンド推進事業	所管課【2】	観光物産課	
		作成者(担当者)	高田 千織	
総合計画での位置付け【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり		重点 施策【4】
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進		
	施策区分	(1)インバウンド事業の推進		
実施の根拠(複数回答可)【5】	■ 市長公約 □ 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 □ 法令、県・市条例等【 】 ■ その他の計画【 観光振興計画 】 □ 該当なし			
事業区分【6】	■ ソフト事業 □ 義務的事业 □ 建設・整備事業 □ 施設の維持管理事業 □ 内部管理事務 □ 計画等の策定及び進捗管理事務			
会計区分【7】	■ 一般会計 □ 特別・企業会計【 】 款 7 項 1 目 4 細目 17			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか)【8】	人口減少による国内観光需要の増加が見込めず、今後は国の施策に伴い国内への外国人観光客の増加が予想される中において、本市への誘客を図るためプロモーションを実施する必要がある。
対象(誰、何に対して、受益者等)【9】	外国人観光客
意図(どのような状態にしたいか)【10】	ターゲット国に対するプロモーションを継続することにより、認知度向上を図り、その結果多くの外国人観光客が玉名を訪れることで経済効果を生み地域活性化を図る。

《事務事業の概要》

事業期間【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H28 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】
実施方法【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】
事務事業の具体的内容【14】	・地方創生加速化交付金及び推進交付金の両調査事業の結果に基づいて、本市のインバウンドターゲット国である台湾、香港をはじめ東アジアを中心とした海外での旅行博出展や現地エージェンツ及びメディア等に対するセールスを実施する。 ・玉名市を訪れる外国人観光客の受入れをサポートするため、多言語パンフレットや指差し手帳及び多言語に対応した観光ウェブサイトを使用する。 ⇒【15】 事務事業を構成する細事業(1)本 ① インバウンド推進事業 ② ③

《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	3,250	0	0	0
		一般財源	1,875	9,603	0	2,630	0
	【16】 小計	1,875	12,853	0	2,630	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0	0			
	職人件費	職員人工数	0.60	0.60	0.19	0.19	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497	
		会計年度任用職員人工数			0.00	0.00	
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,973	
		【17】 小計	3,538	3,286	1,040	1,044	
	合計	5,413	16,139	1,040	3,674		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① インバウンド推進事業	旅行博への出展及び現地旅行社及びメディアへの訪問	商談回数	回	4	5	0	5
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
対象(外国人宿泊者数(R3は目標値入力))	2984	3524	685	1500
投入コスト合計(千円)	5,413	16,139	1,040	3,674
対象1単位あたりのコスト(千円)	2	5	2	2
コスト評価(対前年比)	***	39.61% (↓)	301.65% (↑)	61.99% (↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 外国人宿泊者数	県の観光統計による外国人宿泊者数	人	2,500	3,000	3,500	1,500
			2,984	3,524	685	
2						

* 成果未達成時の理由 新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、海外渡航が制限された。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げることで、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、海外渡航が制限され外国人観光客が激減した。また、メインターゲットである香港でも外出制限、飲食店の休業などの措置が取られ、輸出の需要も減少した。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定	B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	新型コロナウイルス感染症流行前のように海外渡航ができるようになるのがいつか見通しが立たないが、日本に旅行したいという需要は途絶えていない。新型コロナウイルス感染症収束後に備えて、ターゲット国に向けた情報発信、WEB商談会やオンラインツアーなどの実施を検討する。		
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	インバウンド事業については、新型コロナウイルス感染拡大の収束が見えない中、今後の回復する見通しは不透明である。そのため、日本国内の誘客への回帰とともにコロナウイルスの状況並びに海外情勢を見極めながら事業を実施する必要がある	評価責任者 津川 隆一
-------------------	---	----------------

事務ふりかえりシート

基本情報

Table with 7 rows and multiple columns for project details. Row 1: Project Name (玉名版DMO構築事業), Department (観光物産課), Creator (本田 祐一). Row 2: Objectives (③賑わいと活力ある産業づくり, (4)観光・物産プロモーションの推進). Row 3: Budget (0千円). Row 4: Category (ソフト事業). Row 5: Accounting (一般会計).

事務事業の目的

Table with 3 rows for project purpose. Row 1: Background (国内の旅行需要が伸び悩む...). Row 2: Target (一社)玉名観光協会及び観光関連事業者. Row 3: Intent (本市の観光振興の推進母体である玉名観光協会を軸に...).

事務事業の概要

Table with 4 rows for project overview. Row 1: Term (単年度のみ). Row 2: Entity (市). Row 3: Method (直営). Row 4: Specific content (観光を切り口として交流人口を増加させるため...).

事務事業実施に係るコスト

Cost breakdown table with columns for H30, R01, R02, R03, and Total. Rows include '事業費' (National/County/Local expenditure) and '職人件費' (Staff costs) with sub-rows for salary and other expenses.

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 玉名版DMO構築事業	インバウンドターゲット国でのマーケティングと受入体制整備	委託事業本数	本	6	1	1	0
②							
③							

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算
	対象(玉名観光協会会員)	59	59	62
投入コスト合計(千円)	22,768	5,423	5,204	9,854
対象1単位あたりのコスト(千円)	386	92	84	159
コスト評価(対前年比)	***	419.84%	(↑) 109.51%	(↑) 52.81%

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	R03実績
1 玉名観光協会会員数	会員数	人	-	-	-	62
2 地域活性化起業人が主体的に行った事業費	事業数	本	59	59	62	1

* 成果未達成時の理由 昨年からの新型コロナウイルス感染拡大を受け、観光客やビジネスなど人の動きが激減したことにより、観光客数、販売額ともに目標を大幅に下回った。観光客数については、新型コロナウイルス感染拡大の影響によるイベントの中止が影響した。販売額は、

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
有効性 【23】		<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある
	公平性	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない) 【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	玉名観光協会によるたまららの運営については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、時短営業や販売額減少となったが、オンラインを活用した通販事業などを実施した。また玉名版DMOの理解度や満足度のアンケート調査を会員向け実施した。さらに広域連携DMOへ向け、日本遺産事業である菊池川流域ガイドの統一窓口を設置した。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	昨年度のアンケート結果を踏まえ、会員等のDMOに対する認知度を向上させていく。オンラインの販売体制強化や県北地域の広域連携といった面ではある程度の成果を残すことができたが、地元や観光協会会員の玉名版DMOに対する理解度や満足度といった点をさらに向上させていく。(令和2年度の事業者アンケート調査で、登録DMOの認知度は全体の41.7%) また、新型コロナウイルス感染拡大により観光業界への影響は甚大であり、今後の収束状況を見極めながら、観光回復期の需要の取り込みを行っていかねばならないため、令和3年度からは地域活性化起業人制度を導入し、活用をはかってゆくとともに、観光協会の組織改革に着手する。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	玉名観光協会会員、各種観光団体へDMOの認知度を高め、メリット、デメリットを丁寧に説明理解してもらうことが重要であるが、まずは、新型コロナウイルス感染拡大により逼迫する旅館やホテルなどの観光関係団体との連携を強化し、このコロナ禍を乗り切る施策をどれだけ打ち出せるかが課題である。DMOは観光で稼ぐ力(ノウハウ)を民間団体へ指導する立場であるにも係らず、指導実績が見出せないのも課題である。本年度は団体となる玉名観光協会への指導、助言を含め組織改革、事業の見直しを図る。	評価責任者 津川 隆一
-------------------	--	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	【新型コロナ】観光支援事業			所管課【2】	観光物産課	
				作成者(担当者)	末永 崇	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③賑わいと活力ある産業づくり				重点 施策【4】
	主要施策(節)	(4)観光・物産プロモーションの推進				
	施策区分					<input type="checkbox"/> 該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 】【 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】【 <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし					
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務					
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】【				款	7 項 1 目 4 細目 24

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	新型コロナウイルス感染拡大で観光関連分野は大きな影響を受けており、今後継続していくためには適切な支援が必要な状況である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	宿泊、温泉、観光関連施設、市民
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	宿泊、温泉、観光関連施設に対して支援事業を行い、落ち込んでいる利用者の増加を図る。あわせてウイズコロナ、アフターコロナへ対応できる体制づくりを実施する。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 年度から】 【 R2 年度～ R3 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】【		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】【		
事務事業の具体的内容 【14】	宿泊等クーポン券事業、宿泊施設感染症対策承認事業、観光戦略策定事業、旅行商品造成事業、音楽イベントと連動した観光事業、玉名のうまかもん「ふるさとたまな便」事業		
	【15】 事務事業を構成する細事業(4)本	⇒ ① 宿泊等クーポン券事業 ② ハイクオリティラベル旅行商品造成事業 ③ 宿泊施設感染症対策認証及び新観光戦略策定事業	

《事務事業実施に係るコスト》

		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	7,020	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	0	0	60,245	27,369
		【16】 小計	0	0	67,265	27,369
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0		
	職人 員 の 費	職員人工数	0.00	0.00	1.59	1.59
		職員の年間平均給与額(千円)	5,896	5,476	5,476	5,497
		会計年度任用職員人工数			0.00	0.00
		会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)			1,950	1,973
		【17】 小計	0	0	8,707	8,740
	合計		0	0	75,972	36,109

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H30実績	R01実績	R02実績	R03計画
① 宿泊等クーポン券事業	利用割引クーポン券事業を行い、旅館・ホテルの利用促進を図る。	クーポン券利用率	%	***	***	95	98
② ハイクオリティトラベル旅行商品造成事業	新型コロナウイルス感染拡大に対応した対策及び観光戦略を策定する	策定数	件	***	***	1	1
③ 宿泊施設感染症対策認証及び新観光戦略策定事業	新型コロナウイルス感染拡大に対応した観光音楽イベントを実施する	実施数	件	***	***	1	1

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算		
	対象(観光客入込総数)	2243733	2435622	1357958	1500000		
投入コスト合計(千円)	0	0	75,972	36,109			
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0			
コスト評価(対前年比)	***	0.00%	(-)	0.00%	(-)	232.45%	(↑)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H30目標	R01目標	R02目標	R03目標
			H30実績	R01実績	R02実績	
1 観光客入込総数		人	-	-	-	1500000
			2243733	2435622	1357958	
2						
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令等で義務づけられている <input type="checkbox"/> ・法令等で義務づけられてないが、実施しなければ多くの対象の生活や活動等に支障をきたす <input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要が薄れている <input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input checked="" type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している <input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input checked="" type="checkbox"/> ・設定できない理由(受益者負担はなじまない) 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	前回のふりかえりなし			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了	総合判定 B
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	新型コロナウイルス感染拡大の状況によって、事業者支援のクーポン券事業は継続の必要ありと考えられる。また策定した観光戦略を活かして効果的な事業を行う。			
次年度への予算反映(連動) 【27】	<input type="checkbox"/> ・増額 (細事業名) <input type="checkbox"/> ・減額 (細事業名)			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【28】	新型コロナウイルス感染拡大の状況によって、逼迫する観光関係団体の支援につながる事業を継続的に打ち出す。また、今後はコロナ禍の収束を見据えた効果的な観光戦略について、引き続き検討を進める。	評価責任者 津川 隆一
-------------------	---	----------------